

# 桜が咲き誇る公園に

## 〜照日神社に桜の木を植樹〜



荒佐野親和会（会長・清山重則さん）は、二月二十日（金）、野方荒佐の照日神社境内の周囲に、桜（ソメイヨシノ）の苗木百五十本を植樹しました。

今回の目的は、「植樹をとおして、自然環境保護に関心を持たせるとともに、郷土愛を育てたい」として、大崎第一中学校の生徒達が今回参加しました。

一人一本つつ手渡された桜の苗木は、あらかじめ決められた場所に各自穴を掘り植えられました。その横には、生徒達が自分の名前を彫った銅板を貼り付けた杭も立てられました。

会長の清山さんは、「荒佐神社には、三一九年前に七五〇本の木を植えたという記録が残されており、昔から鎮守の森として親しまれてきました。荒佐には、こんなに立派な公園（神社）があるので復活させたいという願いと、将来に夢を託した子ども達に、桜の木の植樹をとおして自然環境保護に関心を持ってもらい、郷土愛も育んでもらいたかった。」と話されました。

この桜の木に花が咲くのは、三年後ぐらい。公園一面に花が咲くのが待ち遠しいですね…。



親和会会長の清山重則さん

